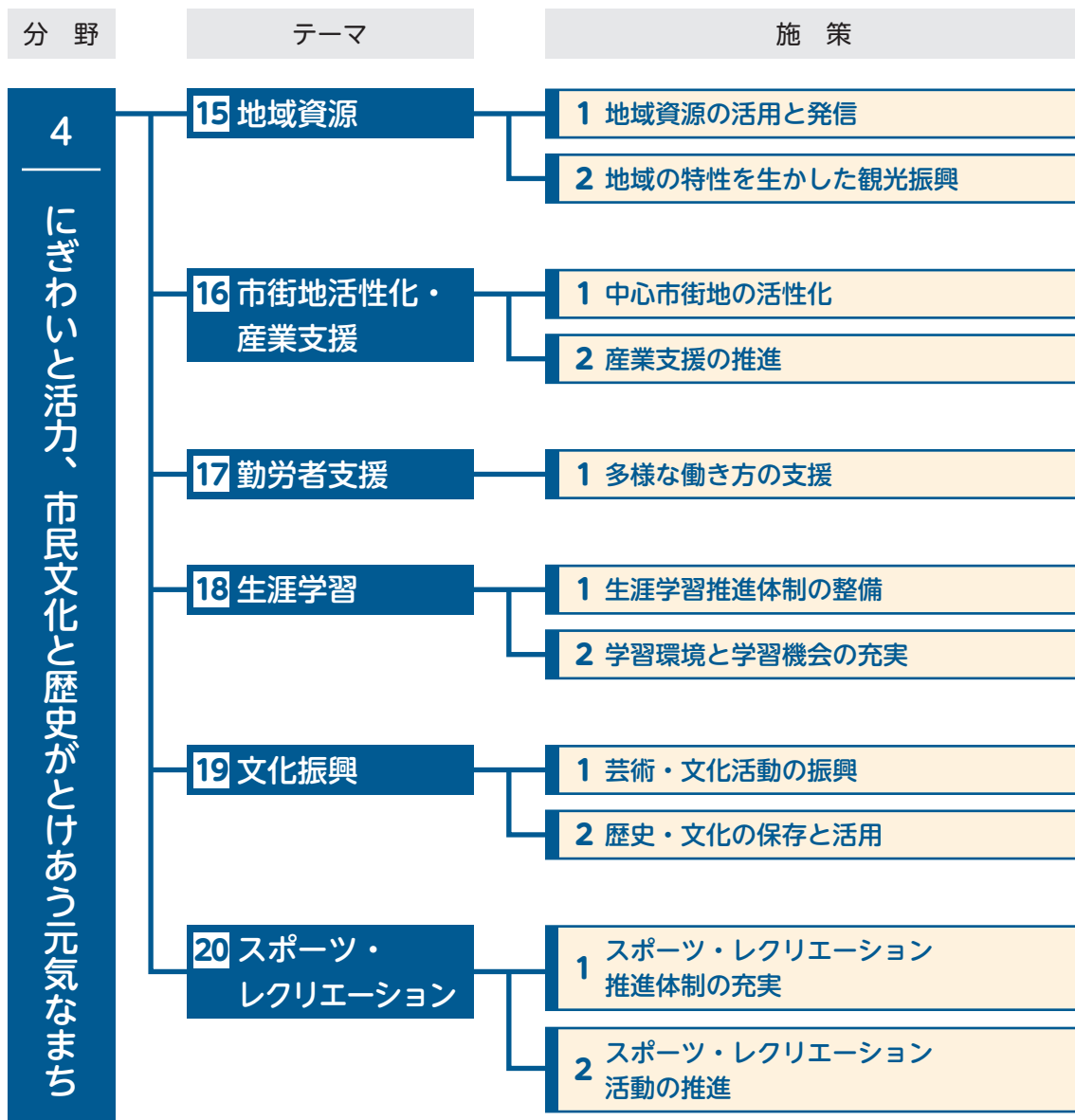


第4章 にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち

歴史的・文化的資源を活用し、市への愛着の一層の醸成と市の魅力の向上を図るとともに、産業支援や観光事業の取組などを通じ、にぎわいと活力あるまちを目指します。また、市民一人ひとりが生涯を通じて学び、地域に根ざした文化が薫るまちを目指すとともに、だれもがスポーツやレクリエーションを楽しめ、元気に活動できるまちを目指します。

【施策の体系】



【指標】

指標	現状値	目標値
サブリース等による空き店舗解消件数（サブリース事業により出店または空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店した件数・期間中累計）	—	15 件
魅力ある店舗づくり支援事業補助金の活用件数（累計）	—	80 件
公民館延べ利用者数	163,634 人	210,000 人
図書館の貸出等件数（電子図書含む）	357,073 件	530,000 件

現状値＝特記のないものは令和4年度実績または令和4年度末実績 目標値＝令和10年度目標または令和10年度末目標

【関連計画等（主要なもの）】

計画等の名称	内容
わらびシティプロモーション指針	「選ばれるまち“わらび”」を目指し、交流人口や定住人口の増加を目指すとともに、シビックプライドの醸成を図るための考え方や方向性などを定めた指針です。
蕨市中心市街地活性化プラン	各種団体などとの連携により、都市活力の持続性確保を目指し、中心市街地活性化に向けて取り組むための計画です。
蕨市教育振興基本計画	目指すべき教育の姿や取り組むべき施策の方向性を明らかにし、本市の実情に応じた教育行政を計画的に推進するための計画です。
蕨市生涯学習推進計画	市民と行政が協働で創る生涯学習社会の実現を目指し、今後の蕨市における生涯学習推進の方向性を定めた計画です。
蕨市子ども読書活動推進計画	家庭、地域、学校等の連携・協力により、幼少期からの読書習慣の定着を促し、子どもが自ら読書に親しめるよう、本に触れる機会や本を読むための環境をより一層充実するための計画です。

【協働とDXの取組】

テーマ	具体的な取組（例）
協働	関係機関や地域、事業者との協働により、蕨市の誇る地域資源の活用やまちのにぎわいづくりを進めるとともに、市民一人ひとりによる市の魅力発信を進めます。また、関係団体等との協働により、生涯学習やスポーツ・レクリエーションの機会、芸術・文化に触れる機会づくりを進めます。
DX	デジタル技術の活用により、市の魅力を内外に積極的に発信するとともに、DX*に対応できるような産業の支援等に取り組めます。また、電子図書館の普及をはじめ、生涯学習活動等へのデジタル技術の活用を図ります。

【SDGsの取組】

ゴール4：質の高い教育をみんなに	
	18-1. 生涯学習推進体制の整備（生涯学習推進体制の充実、生涯学習に関する団体の支援と地域の人材の活用） 18-2. 学習環境と学習機会の充実（学習環境の充実、多様な学習機会の提供、生涯学習情報の発信、図書館サービスの充実） 19-1. 芸術・文化活動の振興（芸術・文化活動団体の支援と地域の人材活用、芸術・文化活動の環境づくり、音楽によるまちづくり（わら音）の推進、地域資源を生かした芸術・文化振興） 20-1. スポーツ・レクリエーション推進体制の充実（取組を進める運用体制の充実、スポーツ・レクリエーション団体の支援と地域の人材活用） 20-2. スポーツ・レクリエーション活動の推進（スポーツ・レクリエーション環境の充実、多様なスポーツ・レクリエーション機会の充実）
ゴール8：働きがいも経済成長も	
	15-1. 地域資源の活用と発信（地域資源を生かした商品開発の促進、シティプロモーションの推進） 15-2. 地域の特性を生かした観光振興（地域資源を活用した観光振興の推進、戦略的な観光振興の展開） 16-1. 中心市街地の活性化（計画的な中心市街地の活性化、魅力ある商業空間の創出） 16-2. 産業支援の推進（経営体質の強化と起業支援、産業関係団体等への支援と連携促進） 17-1. 多様な働き方の支援（情報提供・相談体制の充実、事業者に対する啓発、キャリア形成の支援）
ゴール11：住み続けられるまちづくりを	
	19-2. 歴史・文化の保存と活用（歴史資料に関する調査・研究の推進、歴史民俗資料館における事業の充実）

15 地域資源

目指す姿 蕨市の誇る歴史的・文化的資源などの多様な地域資源を積極的に活用し、市民のまちへの愛着の醸成と市の魅力の向上を図るとともに、市外からの来訪者を増やしまちを活性化させることによって、蕨らしいにぎわいのあるまちを目指します。

◆ 現況と課題

- 人口減少社会のなか、「選ばれるまち」を目指し、地域に暮らす人々のまちへの愛着を高めるとともに、まちの魅力を外部の人々に知ってもらう取組は重視されてきています。このため、地域固有の資源を生かした個性豊かなまちづくりと、まちの魅力を内外にPRするシティプロモーション*の重要性は一層高まっています。
- 蕨市には、中山道蕨宿をはじめ、三学院、和樂備神社といった歴史ある寺社、幕末から明治にかけて活躍した絵師・河鍋暁斎の美術館、機まつりや宿場まつりなどの祭事、わが国で初めての成人式(成年式)、日本一早く実がなるわらびりんご、かつて織物の生産地として名をはせた蕨の技術を今に伝える双子織*、蕨市を舞台としたアニメや、女子サッカーWEリーグとの関わりなど、日本一小さなまちの中に多くの地域資源が息づいています。
- これまで蕨市では、多様な地域資源を積極的にまちづくりに活用すべく、「蕨ブランド認定制度」の創設や、「わらびシティプロモーション指針」の策定と取組の展開、関係団体等との連携による多彩なイベントの開催など、さまざまな取組を進めてきました。
- これからも、蕨市の宝である地域資源を大切に守り育てるとともに、新たな資源の掘り起こしや商品開発に取り組み、これらを市民の学びやまちづくりに広く活用しながら、蕨市の魅力を伝えるシティプロモーション*の取組を進めることが大切です。
- また、市民や団体、事業者などとの協働により、地域間交流や観光事業の取組を推進し、市外からの来訪者を増やし、まちのにぎわいづくりにつなげていくことが重要です。

施策1 地域資源の活用と発信

- (1) 地域資源を生かした商品開発の促進
- ① 蕨商工会議所や蕨市にぎわいまちづくり連合会、蕨市観光協会、蕨ブランド協会などとの連携により、蕨ブランドの更なる魅力向上を図ります。
 - ② わらびりんごや双子織*、河鍋暁斎などの地域資源を生かし、商品開発やまちづくりへの活用を促進するとともに、新たな地域資源の掘り起こしに取り組みます。
- (2) シティプロモーションの推進
- ① 広報蕨、市ホームページ、SNS*、イベントなどを通じ、蕨市の地域資源が持つ魅力などについて、市内外に広く発信します。
 - ② 蕨市の地域資源が持つ魅力を児童・生徒や市民の学びなどに活用し、まちへの愛着の醸成を図ります。
 - ③ 蕨市PR大使などとの連携やメディアを活用した情報発信、ロケーションサービス*などにより、蕨市の魅力を幅広く発信します。

施策2 地域特性を生かした観光振興

- (1) 地域資源を活用した観光振興の推進
- ① 各種産業関係団体や蕨市観光協会などとの連携により、機まつりや宿場まつりなど地域資源を生かしたイベントの開催を推進します。
- (2) 戦略的な観光振興の展開
- ① 中山道蕨宿など地域資源の活用方策を検討し、更なる魅力向上を図りながら、新たなにぎわい交流拠点の整備など、戦略的な観光振興を推進します。
 - ② 交流協定等を締結している群馬県片品村や栃木県大田原市、静岡県湖西市などとの相互の地域資源を生かした地域間交流を推進します。



わらびりんごサイダー



双子織を使ったショルダーバッグ

16 市街地活性化・産業支援

目指す姿 蕨駅西口再開発をはじめとした新たな拠点整備などの中心市街地の活性化に取り組むとともに、商店街への支援など産業の育成・支援を進めることにより、にぎわいと活力のあるまちを目指します。

◆ 現況と課題

- わが国では、人口減少と少子高齢化、消費生活の変化などを背景として、特に地方都市において中心市街地の活力低下が顕著です。国は、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進するため、中心市街地活性化制度を設け、各地域における取組を支援しています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大などを契機として、既存事業者への支援や、起業・創業支援の重要性も増しています。蕨市は、東京近郊の住宅都市として急速に発展したまちですが、近年では他の都市同様、中心市街地の活力低下が課題となっています。
- 蕨市では、現在、蕨駅西口地区市街地再開発事業や中央第一地区まちづくり事業などを進めるとともに、「蕨市中心市街地活性化基本計画」の後継計画として2022(令和4)年に策定した「蕨市中心市街地活性化プラン」に基づき、日本一市域が小さいという蕨ならではの特性を生かして、従来の中心市街地エリアを軸としつつ、市域全体を中心市街地として、まちの活性化に取り組んでいます。
- まち全体の活性化のためには、空き店舗対策や蕨駅西口再開発による新たな集客拠点と中山道周辺における新たな交流拠点の整備などのエリアリノベーション*、ソフト事業の拡充などによるにぎわい創出などが求められます。
- また、デジタル技術の進展やリモートワークの浸透など時代の変化等も踏まえつつ、市内事業者の経営体質の強化や、起業支援のほか、産業支援の推進も求められます。



施策1 中心市街地の活性化

(1) 計画的な中心市街地の活性化

- ① 「蕨市中心市街地活性化プラン」に基づき、まち全体の活性化に向けた事業を計画的に推進します。また、にぎわいを創出する新たな交流拠点の整備など、エリアリノベーション*の推進に取り組めます。
- ② 蕨駅西口地区市街地再開発事業や中央第一地区まちづくり事業などにあわせ、周辺事業者などとの協働により、まちのにぎわいづくりを進めます。

(2) 魅力ある商業空間の創出

- ① 蕨市にぎわいまちづくり連合会などとの連携により、商店街への支援を充実するとともに、にぎわいの軸としての駅前通りのリニューアル整備など、魅力的な商業空間を創出します。
- ② 関係団体などとの連携により、空き店舗の有効活用に向けた取組を支援します。



施策2 産業支援の推進

(1) 経営体質の強化と起業支援

- ① 蕨商工会議所や蕨市にぎわいまちづくり連合会との連携により、経営改善や事業継承などに向けた各種講習会を継続的に実施するとともに、魅力ある店舗づくりに取り組む事業者の支援などを通じて、市内事業者の経営体質の強化を促進します。
- ② 起業を志す人を対象とした、情報や学習機会の提供と相談体制の充実に努めます。

(2) 産業関係団体等への支援と連携促進

- ① 「蕨市商業振興条例」に基づき、各種産業関係団体に対して支援するとともに、各種団体間の連携を促進します。
- ② 中小企業等経営強化法に基づき、市の認定を受けた中小企業の設備投資を促進します。
- ③ 住宅改修資金助成制度と中小企業を対象とした資金融資制度の活用を促進します。
- ④ 公共施設における小規模修理・修繕契約希望者登録制度の活用を促進します。
- ⑤ SDGsの達成に向けて取り組む市内事業者等と連携し、その取組の周知やSDGsの普及・促進を図ります。

17 勤労者支援

目指す姿 国や県、関係機関との連携により、就労に関する情報提供や相談体制の充実、事業者への啓発を図るとともに、ニーズに応じたキャリア形成支援などに努めることにより、だれもが自分らしく働けるまちを目指します。

◆ 現況と課題

- 新型コロナウイルス感染症の拡大は、わが国の経済・雇用情勢にも大きな影響を与えました。今なお、産業ごと、職種ごとにみると雇用情勢の改善状況は一様ではなく、デジタル技術の著しい進展も相まって、テレワーク*などの新しい働き方が急速に浸透するなど、勤労者をめぐる環境は大きく変化しています。また国は、だれもが活躍できる全員参加型の社会の実現を目指し、働く意欲のある人たちの環境改善に向け、雇用や職業能力開発のための施策を推進しています。
- これまで本市では、国や県、関係機関との連携により、就労に関する情報提供や相談体制の充実、職業能力開発の支援に努めてきたほか、勤労者住宅資金や生活資金の融資あっ旋、小規模企業退職金共済制度の活用促進などを図ってきました。
- 今後は、勤労者をめぐる環境が大きく変化するなか、市民がニーズに沿った就業の機会を得られるよう、国や県、関係機関との連携により情報提供や事業者への啓発に取り組むとともに、市民の多様な働き方とキャリアの形成を支援していく必要があります。

施策1 多様な働き方の支援

- (1) 情報提供・相談体制の充実
- ① 市民がニーズに沿った就業の機会を得られるよう、国や県、関係機関との連携により雇用に関する情報の収集・提供に努めます。
 - ② 県との連携により、労働セミナーなどを開催し、だれもが健康で安心して働ける環境づくりを進めます。
- (2) 事業者に対する啓発
- ① 事業者に対し、労働契約法に基づく継続雇用や、高齢者雇用安定法に基づく継続雇用、その他高齢者の雇用促進に向けた啓発に努めます。
 - ② 小規模企業退職金共済制度の周知に努めるとともに、その活用を促進します。
- (3) キャリア形成の支援
- ① 国や県、関係機関との連携により、各種制度や取組について情報提供を行うなど、キャリア形成の支援に努めます。



労働セミナーの様子

18 生涯学習

目指す姿

生涯学習に関わる団体の支援や人材の活用を進めるとともに、学習環境や機会の充実を図ることにより、市民一人ひとりが生涯を通じて、それぞれの目的やニーズに応じて自由に学び、学習した成果を社会参加活動などに生かしていくことができるまちを目指します。

◆ 現況と課題

- 「人生100年時代」に向けて社会が大きな転換点を迎えるなか、個人の心の豊かさの追求とともに、学習を通じた人づくりや人と人とのつながりの場づくりとなる生涯学習の重要性は一層高まっています。国は、一人ひとりが生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が適切に評価され、それを生かしてさまざまな分野で活動できるようにするためのしくみづくりなど、生涯学習社会の実現のための取組を進めています。
- 蕨市では、これまで、「蕨市生涯学習推進計画」に基づくさまざまな事業を展開してきました。公民館や図書館、文化ホールくるるなどを拠点とした生涯学習機会の提供とともに、NPOや各種団体、企業等との協働型の学習機会の提供にも努めており、その結果、多くの個人や団体による多彩な生涯学習活動が展開されています。
- 生涯学習の重要性が更に増していく一方で、活動の担い手の高齢化や固定化が進んでいる状況もあり、次代を担う指導者やボランティアの養成を継続的に図ることも含め、生涯学習推進体制を整備していく必要があります。
- また、これからも市民の主体的かつ自主的な生涯学習活動が行われるよう、各種団体や地域の人材との連携を図りながら、活動への幅広い支援や関連情報の提供、多様な学びの場の提供、成果発表としての地区生涯学習フェスティバルの開催など、さまざまな取組の充実を図っていく必要があります。

施策1 生涯学習推進体制の整備

(1) 生涯学習推進体制の充実

- ① 「蕨市生涯学習推進計画」に基づいた取組を進めます。
- ② 社会教育委員会議や公民館運営審議会、地区生涯学習連絡会など生涯学習の推進に関する組織の充実を図ります。
- ③ 公民館や図書館など、社会教育施設におけるサービスの充実と専門性の向上を図ります。

(2) 生涯学習に関する団体の支援と地域の人材の活用

- ① 社会教育関係団体など生涯学習に関係する団体の育成とその活動の支援に努めます。
- ② 次代を担う指導者となる人材を確保・育成するとともに、わらび市民活動人材ネットつながるバンク*の取組などで、地域の人材の活用を図ります。
- ③ 放課後子ども教室、わらび学校土曜塾*などにおいて、地域の教育力と人材の活用を図ります。



施策2 学習環境と学習機会の充実

(1) 学習環境の充実

- ① 公民館や歴史民俗資料館、文化ホールくるるなど、生涯学習の拠点となる施設を計画的に改修し、その機能の向上を図ります。
- ② 生涯学習の拠点となる施設について、利用者のニーズや施設設備の状況・必要性などを踏まえつつ、施設運営の充実とサービスの向上を図り、だれもが利用しやすい環境づくりに努めます。

(2) 多様な学習機会の提供

- ① 公民館などを拠点として、市民の学習ニーズやライフステージに応じた学習課題、その時々々の社会情勢などをテーマとした多様な学習や学びを生かす機会を提供します。
- ② 地域の団体や学校、保育園などと連携して、地区生涯学習フェスティバルなどの事業を実施します。
- ③ 市民参画を促すための生涯学習まちづくり出前講座の充実を図ります。また、NPOや各種団体、企業等との協働型の学習機会を提供します。
- ④ 子どもたちに学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を目的とする、わらび学校土曜塾*の充実を図ります。

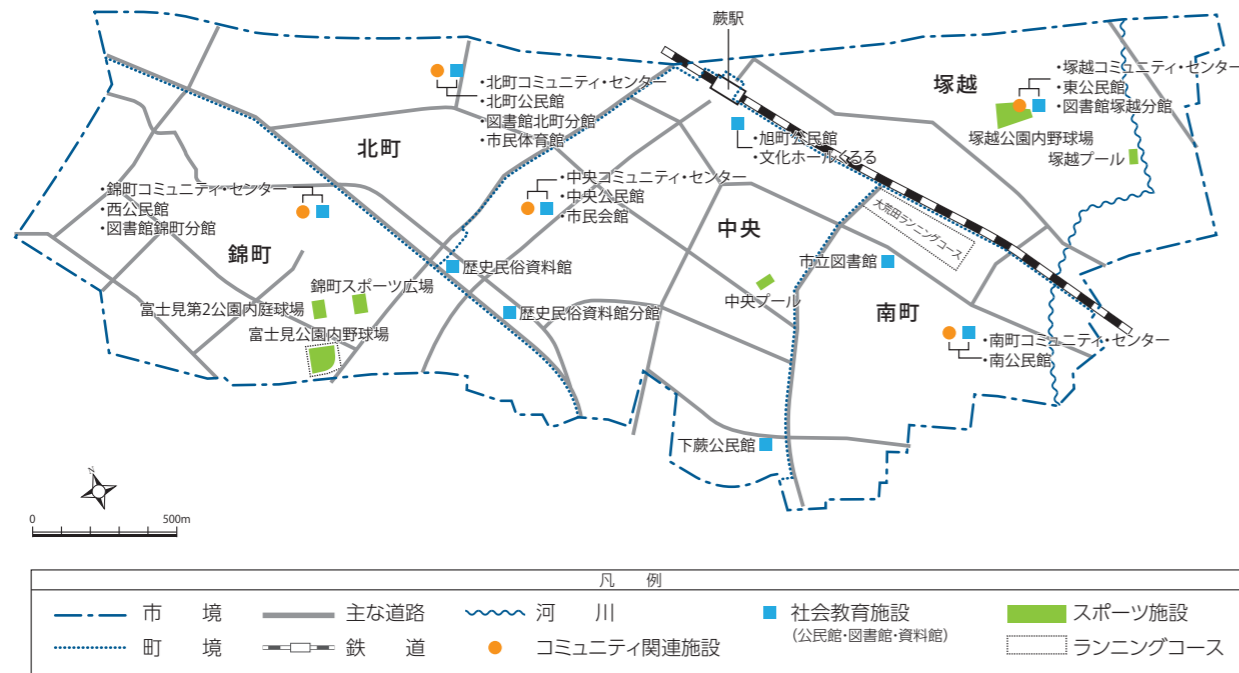
(3) 生涯学習情報の発信

- ① 広報蕨や市ホームページ、生涯学習カレンダーや公民館報、わらびネットワークステーションなどを活用し、市民のニーズや社会の課題を捉えた生涯学習情報を発信します。また、SNS*等も活用し、若年層への情報発信を強化することで、生涯学習活動の活性化や地域づくりの担い手の確保につなげます。

(4) 図書館サービスの充実

- ① ICT*の活用促進により、資料の検索、予約などにおける利便性の向上や手続きの簡素化を進めるとともに、電子図書館サービスの充実を図ります。
- ② 「蕨市子ども読書活動推進計画」に基づき、幼少期からの読書習慣の定着を促します。また、子どもたちが絵本に触れ合えるセカンドブック事業*や読書通帳*の活用を進めます。
- ③ 蕨駅西口再開発に伴い駅前に整備が予定されている新図書館については、多様化する学習ニーズや利用者特性に配慮し、良好な立地を生かした安心・快適な利用環境を提供できるよう施設の整備を進めます。

生涯学習・コミュニティ施設等位置図



わらび学校土曜塾



生涯学習フェスティバル



図書館で読書を楽しむ子どもたち

19 文化振興

目指す姿 蕨市に息づくさまざまな歴史・文化資源の保存と活用、周知を図りながら、市民の芸術・文化活動の支援とその活用・創出の環境を整えることにより、蕨らしい文化の薫るまちを目指します。

◆ 現況と課題

- 文化芸術は、人々の創造性を育み、豊かな人間性を養うとともに、人と人との心のつながりを強め、心豊かで多様性と活力のある社会を形成するために大切なものです。国は、2023(令和5)年に文化芸術推進基本計画(第2期)を策定し、価値創造と社会・経済の活性化を目指しています。
- 市内には、中山道蕨宿の風情を感じるまちなみをはじめ、三学院や和樂備神社などの寺社、幕末から明治にかけて活躍した絵師・河鍋暁斎の美術館、機まつりや宿場まつり、成年式といった歴史・文化資源が豊富にあります。
- これまでも蕨市では、こうした貴重な歴史・文化資源を生かしつつ、公民館や市民会館、文化ホールくるるなどを拠点とした市民による芸術・文化活動が活発に行われており、その成果が蕨市文化祭や蕨市公募美術展覧会(市展)などで発表されているほか、音楽によるまちづくり(わら音)の推進も図られています。また、歴史資料に関する調査・研究を進め、歴史民俗資料館における企画事業などを通じて、郷土の歴史に触れる機会を提供しています。
- 芸術・文化活動は、生涯学習活動と同様に、人づくりや人と人をつなぐ場づくりといった観点からも重要であり、また、活動を通じて蕨のさまざまな歴史や文化に触れられることから、蕨を愛する心の醸成にもつながります。このため、今後も、市民による自主的な芸術・文化活動の支援・活用を図っていく必要があります。
- また、引き続き歴史民俗資料館を中心として、蕨市に息づくさまざまな歴史・文化資源が失われないよう、その保存と活用、市民への周知を図っていく必要があります。

施策1 芸術・文化活動の振興

- (1) 芸術・文化活動団体の支援と地域の人材活用
- ① 助成金や情報の提供などにより、芸術・文化団体の育成や担い手の確保を支援し、活動の活性化を促進します。
 - ② 市内在住の芸術家など、芸術・文化活動の担い手の文化・芸術事業への参加促進に努めます。
 - ③ わらび市民活動人材ネットつながるバンク*の取組などで、芸術・文化活動に寄与する人材の活用を図ります。
- (2) 芸術・文化活動の環境づくり
- ① 蕨市文化祭や蕨市公募美術展覧会(市展)をはじめとした、芸術・文化活動の成果発表の場の充実を図るとともに、市民の自主的な活動をまちづくりに生かします。
 - ② 蕨市民会館や文化ホールくるる、市庁舎などを活用し、質の高い芸術・文化に触れる機会の提供に努め、芸術・文化活動に対する市民の関心の向上を図ります。
 - ③ 蕨駅西口再開発に伴い駅前に移転が予定されている現図書館の跡地について、芸術・文化の拠点としての活用方針を検討します。
- (3) 音楽によるまちづくり(わら音)の推進
- ① 蕨市民音楽祭などを通じて音楽によるまちづくりを推進し、身近に音楽に触れられる機会やイベントを通じてまちのにぎわいを創出することを目指します。また、イベントや音楽情報を効果的に発信する方法を研究します。
- (4) 地域資源を生かした芸術・文化振興
- ① 絵師・河鍋暁斎の作品など地域の芸術・文化の魅力に触れる機会の充実に努めます。

施策2 歴史・文化の保存と活用

- (1) 歴史資料に関する調査・研究の推進
- ① 歴史民俗資料館を中心として、市内に残る歴史・民俗資料の調査研究と整理を進めるとともに、地域資料として重要なものを、市の文化財として指定していきます。
- (2) 歴史民俗資料館における事業の充実
- ① 歴史民俗資料館における展覧会や講座を通じて、地域の文化財や郷土の歴史に触れる機会の充実に努めます。
 - ② さまざまな分野の芸術家との連携のもとで展示を行い、資料館の魅力向上に努めます。

20 スポーツ・レクリエーション

目指す姿 地域の人材を活用しながら生涯スポーツ・レクリエーション推進体制の充実を図るとともに、施設や活動機会の提供、指導者となる人材の育成・確保に努め、だれもが生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめるまちを目指します。

◆ 現況と課題

- スポーツは、世界共通の人類の文化であり、人々が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものです。国は、2022(令和4)年に第3期スポーツ基本計画を策定し、「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」の3つの視点のもと、国民がスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指しています。また、スポーツ・レクリエーションは、健康の増進だけでなく、体を動かすことによって得られる爽快感や達成感、更には友人や家族間の触れ合いを促すなど、現代社会において大きな意義を有しています。
- 蕨市には、市民体育館や錦町スポーツ広場、富士見公園内野球場やテニスコート、ランニングコースなどが整備されているほか、小・中学校の体育施設開放が行われており、これらを拠点として、市民がさまざまなスポーツを楽しんでいます。また、市民ロードレース大会や水泳大会などのイベントが開催されており、子どもから大人まで、多くの市民が参加しています。更に、近年では、WEリーグなど関係団体等との連携により、「女子サッカーを応援するまち・蕨」としての取組も積極的に進めています。
- 市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進のため、今後も、スポーツ団体の支援と地域の人材活用などを通じ、スポーツ・レクリエーション推進体制の充実に努めていく必要があります。
- また、スポーツ・レクリエーション活動の拠点となる施設の適正な維持管理などを通じ、スポーツ・レクリエーション環境の充実を図るほか、市民がスポーツに親しめる機会の充実を図ることにより、だれもが、それぞれのライフステージに応じて、いつでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組める環境を整えていく必要があります。

施策1 スポーツ・レクリエーション推進体制の充実

- (1) 取組を進める運用体制の充実
- ①「蕨市生涯学習推進計画」に基づき、スポーツ・レクリエーションに関する取組を進めます。
 - ②公共スポーツ施設予約システムの適正な運用により施設予約の利便性を確保します。また、地域のニーズに即したスポーツ情報の提供に取り組みます。
- (2) スポーツ・レクリエーション団体の支援と地域の人材活用
- ①蕨市スポーツ協会や蕨市レクリエーション協会、蕨市スポーツ少年団などへの支援を通じて、自主活動の促進を図ります。
 - ②スポーツ推進委員の育成とその活動を支援するとともに、各種団体の指導者となる人材の発掘・育成に努めます。

施策2 スポーツ・レクリエーション活動の推進



- (1) スポーツ・レクリエーション環境の充実
- ①市民体育館や錦町スポーツ広場など、スポーツ・レクリエーション活動の拠点となる施設を適正に維持管理し、機能の維持と安全性の確保を図ります。
 - ②老朽化が進む中央プールについては、整備・活用方針とともに、学校授業をはじめ、幅広い活用も視野に検討します。また、塚越プールについては、施設の利用やあり方を検討します。
 - ③富士見公園内野球場、塚越グラウンドについては、利用者のニーズ等を踏まえて改修を実施します。
 - ④地域・学校との連携により、学校体育施設開放事業に取り組みます。
 - ⑤「女子サッカーを応援するまち・蕨」として、WEリーグなど関係団体等との連携により情報発信と事業の充実を図り、女子サッカーの裾野拡大や魅力に触れる機会の創出に努めます。



女子プロサッカーチームとの交流事業

(2) 多様なスポーツ・レクリエーション機会の充実

- ①市民体育館などを拠点として、市民ニーズに応じたさまざまなスポーツ・レクリエーション講座を開催します。
- ②市民ロードレース大会や、少年スポーツ教室の開催、民間温水プールの借上げなどを実施し、スポーツ・レクリエーションに親しめる機会を提供します。
- ③年齢や性別、障害の有無などを問わず、だれでも無理なく楽しめるスポーツの普及に向けた取組を推進します。



市民ロードレース大会



市民体育館のキッズスポーツ教室